

さて、今回の現場レポートでは、現場であまりご相談いただくことのない女性活躍推進法についてお伝えしたいと思っています。

女性活躍推進法は、マイナンバーやストレスチェックに隠れてあまり注目されていらいっしょらない方が多いのですが、概要をお伝えすると「そんなに大変なのか」「期日まで時間がない」と驚かれるお客様が多いというのが印象です。

昨年8月に成立した女性活躍推進法では、常時雇用する労働者数が301人以上の企業は、今年の4月までに以下について行うことが義務付けられました（300人以下の企業については、努力義務ではありますが、人手不足と言われる昨今ではこれらの企業こそ取り組むべきだと思いますので、是非最後までお読みください）。

1. 女性活躍に関する状況分析

女性活躍推進法でまず行うのが、自社の女性活躍に関する状況把握です。把握する項目は定められていて、特に「採用者の女性労働者の割合」、「男女の平均継続勤務年数差」、「各月ごとの平均残業時間数」、「管理職に占める女性労働者の割合」の4つは、把握しなければなりません。なお、採用者の女性労働者の割合と平均継続年数の差異は、正社員や契約社員等の雇用管理区分ごとに算出します。

2. 課題の分析・行動計画策定・届出等

現状の確認ができたなら、数値を分析して、自社の課題を明確にします。そして、それらを勘案したおおむね2年から5年間の行動計画を策定します。行動計画には、【計画期間】・【目標】・【取組内容等】を盛り込みます。ここで言う【目標】は、例えば「管理職の女性を●人以上にする」等のように、1つ以上を数値で定めなければいけません。策定した行動計画は、社内周知・外部公表、そして都道府県労働局へ届出が必要になります。

3. 行動計画と男女雇用機会均等法

もし「管理職の女性を●人以上にする」という目標を掲げた場合、どうしても女性労働者を有利に取り扱う措置が頭に浮かびます。

さて、目標達成のために女性を有利に取り扱ってもよいのでしょうか・・・

そこで思い出していただきたいのが、男女雇用機会均等法です。男女雇用機会均等法では募集・採用・配置・昇進・教育訓練等において、性別を理由にどちらか一方を排除すること、不利（または有利）な取り扱いをすることを

購入するには審査がある為、いくつかの条件をクリアした人のみが乗ることのできる車です。

いずれはこの車の後部座席で送迎されるようになってみたいものです。

一度は高級車に乗ってみたい！ロマンだ！と思う方は一度購入を検討してみるのもいいかもしれません。

そして堂々の第一位は…ミツオカのガリュー！

ミツオカ？ガリュー？どの国のどんな車？と思う方も多いかもしれません。

れっきとした日本車で、正しくは光岡自動車の我流といいます。非常にマイナーな会社ではありますが、大蛇(オロチ)を開発した会社といえばわかるかも方もいらっしやるかもしれません。

光岡自動車とは日本で10番目に設立された自動車メーカーです。自動車メーカーとはいうもののエンジンの開発等はしておらず、他メーカーの車種をベースに、改良する仕様となっております。エンジン以外の完全オリジナルカーでは上記で上げた大蛇(オロチ)がその代表です。外装もかなり特徴的で一見すると国産車とは思えません。

ちなみに私が現在乗っている車が光岡自動車の我流です！

人とは違う車に乗ってみたい！目立ちたい！と思う方にはおすすめです！

番外編！

おすすめといえばやはり高級車は外せません。

ということで世界の高級車を紹介したいと思います。

まずはロールスロイスファントム。言わずと知れた世界の高級車の代名詞で、ベントレーとともにイギリスを代表する高級車。値段は5000万円ほど。家が一軒買えてしまいます。

次にブガッティヴェイロン。知る人ぞ知るイタリアの高級車。値段は2億円程度。限定で作られたものは40億円で取引があったとか。

ブランドイメージを崩さない為に購入の際は厳正な審査が行われるようです。噂によると宝くじ一等が当たただけでは審査に落ちてしまい購入できないとか。ちなみに年間の維持費は3000万円とも5000万円とも言われており、燃費は10あたり800mみたいです。もう驚きの数字が並んでいます。

最後はライカンハイパースポーツ。知らない方も多いかと思いますが、値段に

してなんと 4 億円。

アラブ首長国連邦の W モーターズによって開発されたブガッティをも超える高級車となっております。なんと内装に金やダイヤモンドがちりばめられているようです。

ちなみに映画「ワイルドスピード」でも登場し、なんと空を飛んでいました！一度はこのような車に乗ってみたいものですね。

皆様も一台お気に入りの車を発見して優雅なドライブを楽しんでみてはいかがでしょうか。

大規模事業所所属 2013 年 9 月入所 市川 智大



| ◎ | 社労士 Q & A



【執筆者】 大槻事務所 年金プロジェクト

Q: 当社では、昭和 10 年生まれの父が役員として現役で働いています。今までもらっていた年金がもらえなくなると聞いたのですが本当ですか？

A: 平成 27 年 10 月 1 日より、昭和 12 年 4 月 1 日以前生まれの方も年金の在職支給停止の対象になりました。

いままで調整の対象外であった昭和 12 年 4 月 1 日以前生まれの方についても、適用事業所に常時勤務している場合は、賃金と年金額に応じて老齢厚生年金が調整されることになるため、『厚生年金 70 歳以上被用者該当届』の提出が必要となります。この届出が遅れると、遡って老齢厚生年金の支給調整がされる場合がありますので忘れずに行ってください。

◆こちらのメールマガジンは、当所お取引のお客様、当所主催・共催セミナーにお申し込みいただいたお客様、当所職員がお会いして名刺交換させてい

